

2026年9月4日 ISAP2026 テーマ別会合2

政府・自治体・支援機関の連携による中小企業・地域のGX推進～成長と共生を実現するGX連携の可能性～



地域GXを動かす実装エコシステム ～成長と共生を実現する連携の条件～

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)
気候変動ユニット リサーチディレクター
田村堅太郎

1.5℃ロードマップが描く、豊かで持続可能な社会

温室効果ガス排出を、速やか・大幅に減らす

+

日本が直面する様々な社会課題の解決

+

新しい社会に適応した、持続的経済成長



気候リスクが少ない

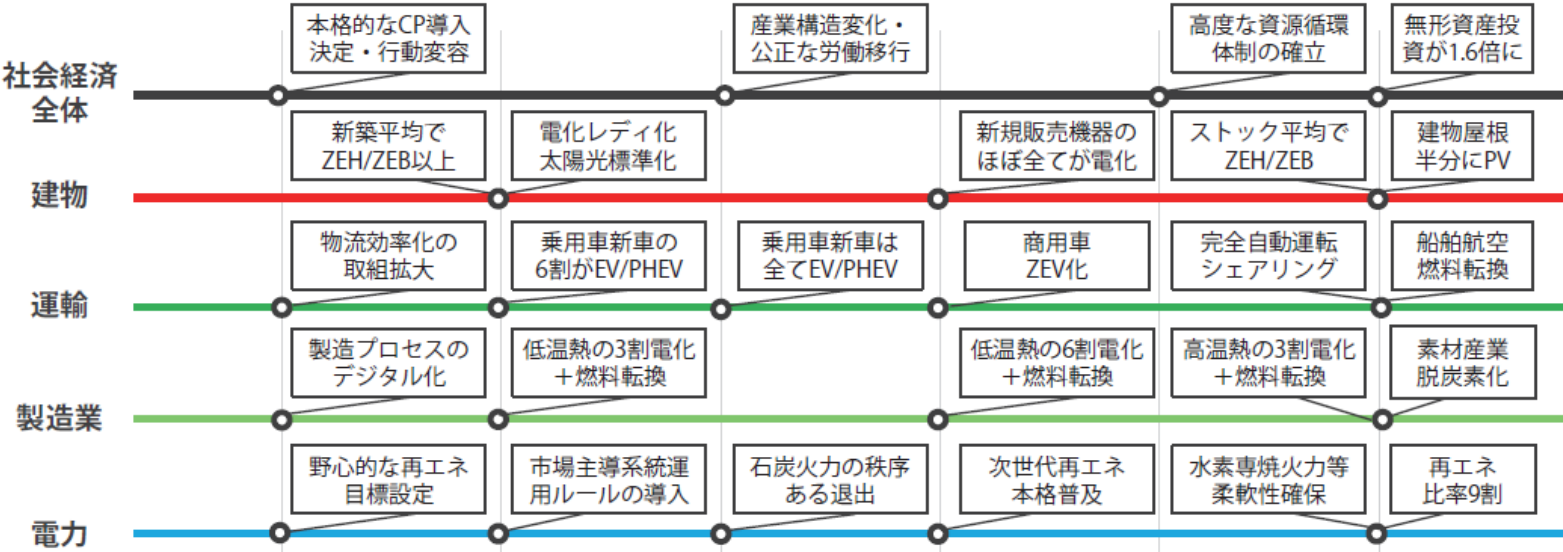
便利・安全・安心な
暮らし

エネルギー自給に
よる発展

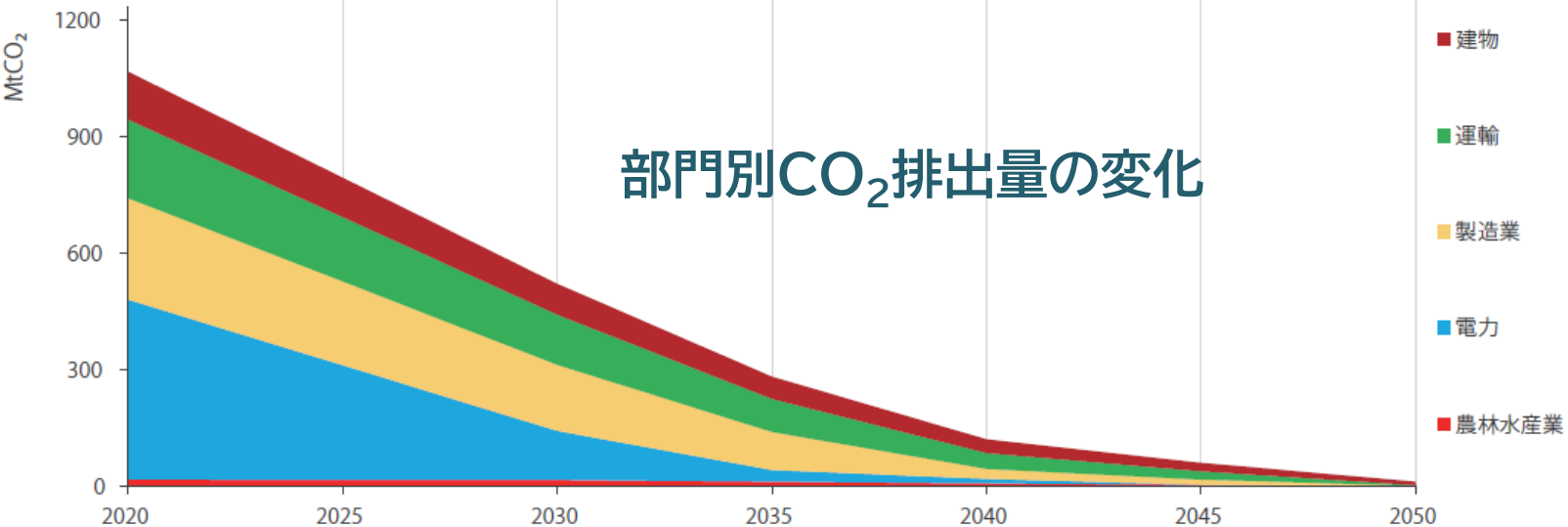


大幅排出削減と両立する豊かで持続可能な社会の構築に向けたマイルストーンを提示

部門別 マイルストーン



- ◇ 現在、マイルストーンに比べ実社会の動きが遅れている。
- ◇ 対応時期は今後見直しが必要。
- ◇ 一方で、やるべきことは大きく変わらない。



1.5℃ロードマップが示す「変化」と「好機」



Change 1

生産性
が変わる



Change 2

エネルギーの
作りかた
が変わる



Change 3

素材利用
が変わる



Change 4

ルール・
インフラ
が変わる



Change 5

マーケット・
マインド
が変わる

5つの
変化

20の
好機

高付加価値サービスへ
転換する

電化が品質・効率を
向上させる

移動・輸送が
創造的時間を生む

シェア・リユースの
活用が広がる

エネルギーも
デジタルでつながる

太陽光発電が
一気に身近になる

みんなの海で
エネルギーをつくる

水素で再エネが
より便利に

ロスなく
高付加価値な生産へ

再エネ・水素で
素材をつくる

強くて軽い素材が
メインに

都市が
資材の保管庫になる

脱炭素の取り組みが
おトクになる

快適な持続的建物が
標準化

デジタルインフラが
さらに整う

みんなが
再挑戦できる社会に

人・情報・共創が
価値の源泉に

デジタルで移動・行動が
より自由に

長く使われるモノが
価値を生む

日本中のまちが
ずっと豊かに



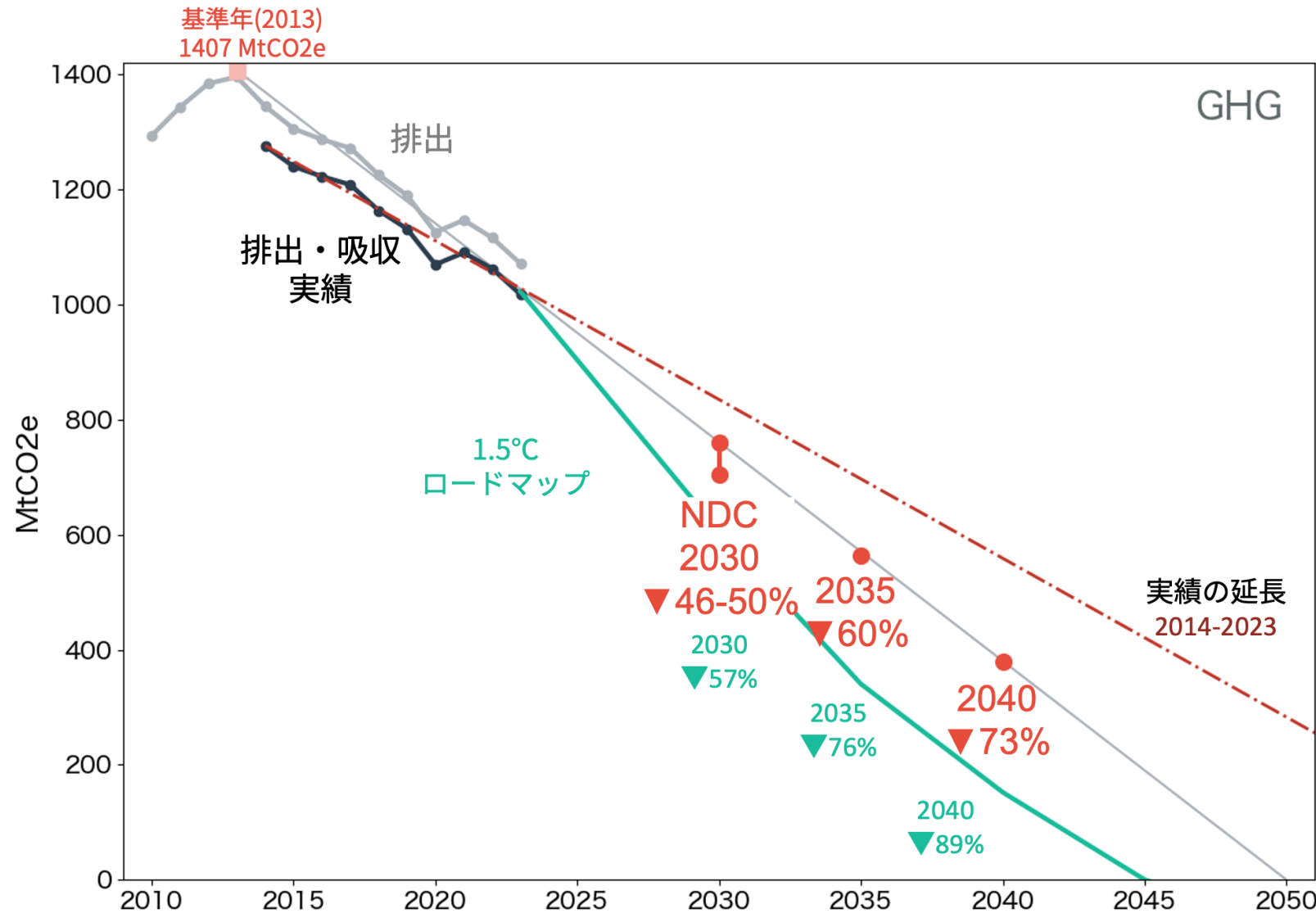
豊かで持続可能な社会

気候リスクの少ない社会

便利・安全・安心な暮らし

エネルギー自給による発展

日本のGHG排出量:着実に減少してきたが、目標達成には加速が必要



- 過去10年の実績を延長すると、NDC(政府目標)や2050年ネット・ゼロに対し排出量が超過
⇒ 削減ペースが足りていない
- 技術や政策を企業・自治体の意思決定につなげ、現場での「実装のギャップ」を埋める必要

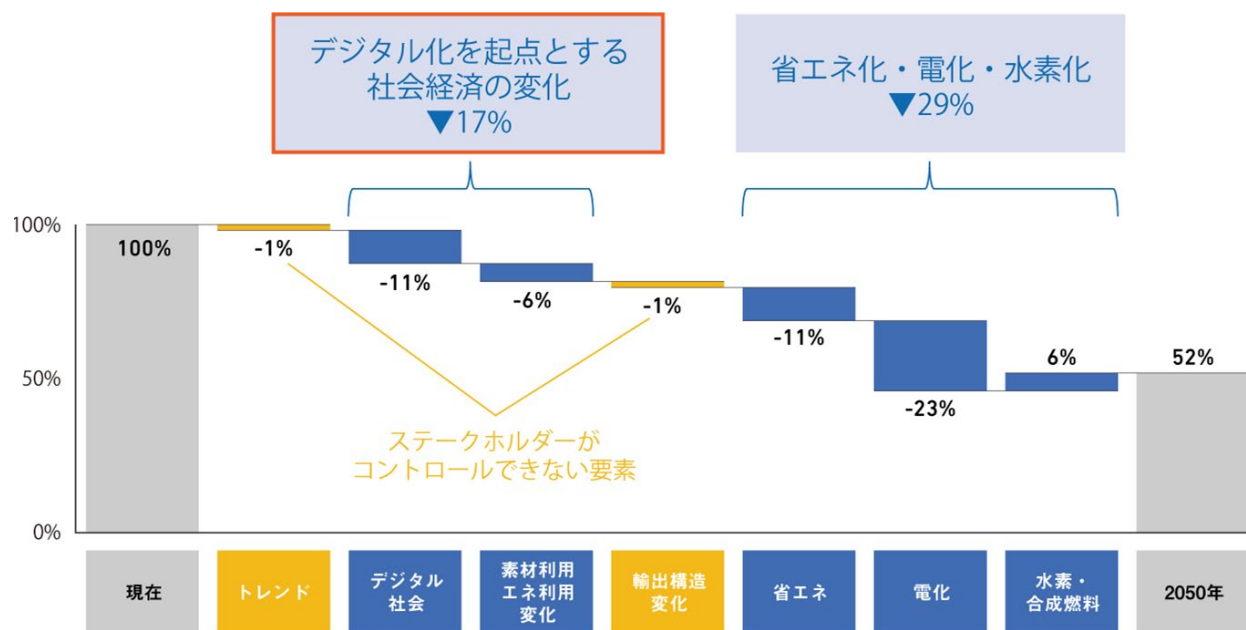
データ出典：排出・吸収量実績はGHGインベントリから。
実績の延長にあたり、COVID-19で排出量が急減した2020年は近似から除外

エネルギー需要・供給の大幅な変化：地域では？

- 需要側の変化： 中小企業等の省エネ、電化、デジタル化による効率・生産性の向上
- 供給側の変化： 再エネの大幅拡大による土地利用の変化と合意形成

成長

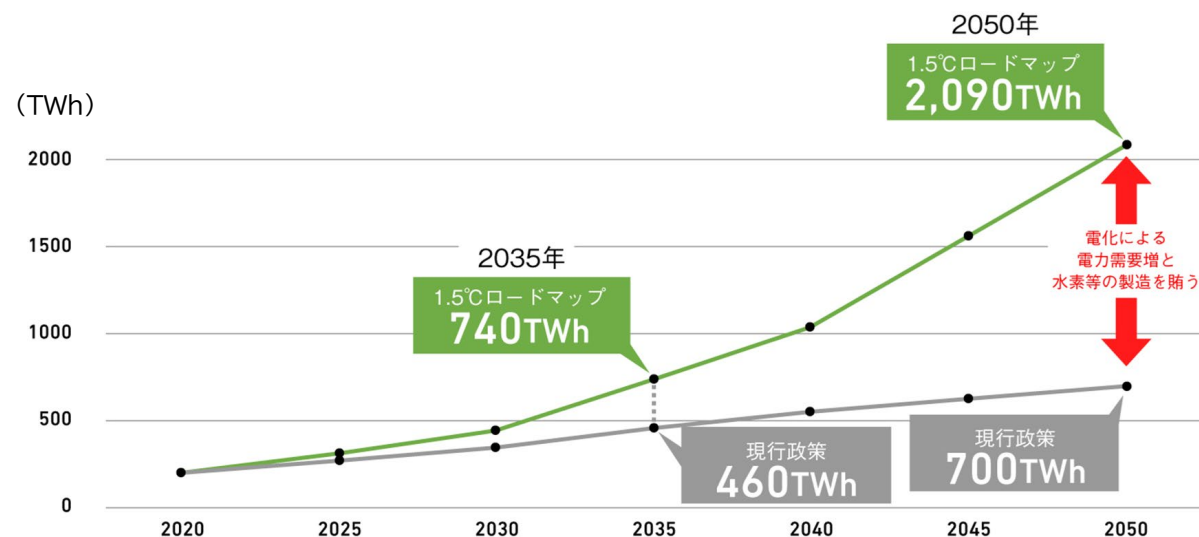
電化とデジタル化による効率・生産性の向上



〈エネルギー需要の変化の内訳〉

共生

再エネ拡大と地域・自然との調和



〈再エネ電力量の変化〉

「やらされるGX」から「自ら選ぶGX」へ

成長

規制・取引先要請に応じて
「渋々やる」脱炭素



経営課題を解決し、
成長するために「やりたい」GX

共生

域外の利益のために
「負担を押し付けられる」再エネ



地域も自然も豊かにするために
「やりたい」再エネ

共通の出発点: GXを企業経営と地域の言葉に翻訳し、地域に価値と選択肢を返す

地域GXを推進するリーダー同士の知見共有の場づくり: Japan CGO Network

CGO(チーフ・グリーン・オフィサー)とは、GXを自治体全体の総合政策として統括する司令塔機能



GXは総合政策

環境だけでなく産業・福祉・防災等を
横断する地域経営の転換



鍵はガバナンスの再設計

分野横断を可能にする仕組みと
リーダーシップ



リーダー同士の知見共有が不可欠

唯一の正解はないからこそ
互いの経験から学ぶ

現場で直面する脱炭素の悩みに寄り添う伴走ツール：自治体職員向けAIチャットボット

ベータ版

地域脱炭素ナレッジベース

地域のステークホルダーに響く『知識』と
脱炭素の実務を動かす
『ノウハウ』『情報』が揃うポータルサイト



HOME > 地域脱炭素ナレッジベース

本ツールは、現在ベータ版として公開しております。
下記にお問合せいただければアクセス方法をご案内いたします。
問合せ・申込先：cgonetwork@iges.or.jp

※当面の間は自治体職員の方向けの限定公開とさせていただきますので、ご了承ください。
皆様からのフィードバックによって、このツールを共に育てていただけたら幸いです。

脱炭素の「AI専門家チーム」を。

行政実務を知り尽くしたAIアドバイザーたちが、あなたの「困った」をチームで支えます。

迷ったらまずここ！



隣の席の脱炭素先輩

脱炭素先輩と話してみる

「脱炭素の仕事、何から手をつけるか迷っていませんか？わからないことがあれば、いつでも隣の私に聞いてくださいね！」

できること

- ぴったりの専門家へのご案内
- 最初のご相談
- 悩みの交通整理



泥臭い悩みに



元自治体職員 レジェンド
他部署・住民交渉アドバイザー

「他部署との衝突や住民対応の泥臭い壁、一緒に突破口を探しましょう。」

できること

- 他部署への説明ロジック
- 地域の合意形成
- 現場の経験知

お悩み相談室に入る



先進事例



情報通アドバイザー
他市の動向に耳ざとい

「全国の先進自治体がどんな事業をいくらでやってるか、すぐ探してきますよ！」

できること

- 先行地域事例
- 事業規模データ
- 他市ヒント

事例について質問する



揺れる「再エネ」をファクトに基づき中立的に解説：再エネポータル

新ウェブサイト 2026.07.22 OPEN



再エネポータル 公開

不安も期待も。再エネの「なんとなく」に答えます。

再エネポータル

不安も期待も。再エネの「なんとなく」に答えます。

データや専門家の知見に基づき、これからのエネルギーを考えるためのヒントをお届けします。

再エネの疑問 データ・資料集 事例集

再エネの疑問 (掲載から探す)

国内初の大型浮体式洋上風力発電所「五島洋上ウ...」
2026.07.22 再エネの疑問

洋上風力発電とは？ 日本における意義・政策的位...
2026.07.22 再エネの疑問

「温室型太陽光発電（ソーラーシェアリング）」とは...
2026.07.22 再エネの疑問

太陽光発電とは？
2026.07.22 再エネの疑問



再エネの今を、確かな情報から。
saiene-portal.iges.jp
公式X @saiene_portal

再エネポータルの3つの約束

ファクトに基づき、中立的な立場から再生可能エネルギーの「いま」をお伝えします。



信頼性

客観的な情報を、
専門家の目を通して



多面的な視点

期待も課題も、
フラットな視点から



わかりやすさ

はじめての人も、
もっと知りたい人も

専門家が監修

※ 2026年7月22日現在

「再エネの疑問」「データ・資料集」は、複数分野の専門家が監修しています。



大関 崇

国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長



田村 聖太郎

公益財団法人地球環境戦略研究機関
気候変動ユニット
リサーチディレクター



寺澤 千尋

株式会社三菱総合研究所
エネルギー・サステナビリティ事業部門 GK本部
再エネ産業戦略グループ
主席研究員・特命リーダー



二宮 康司

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
クリーンエネルギーユニット
上級スペシャリスト



分山 達也

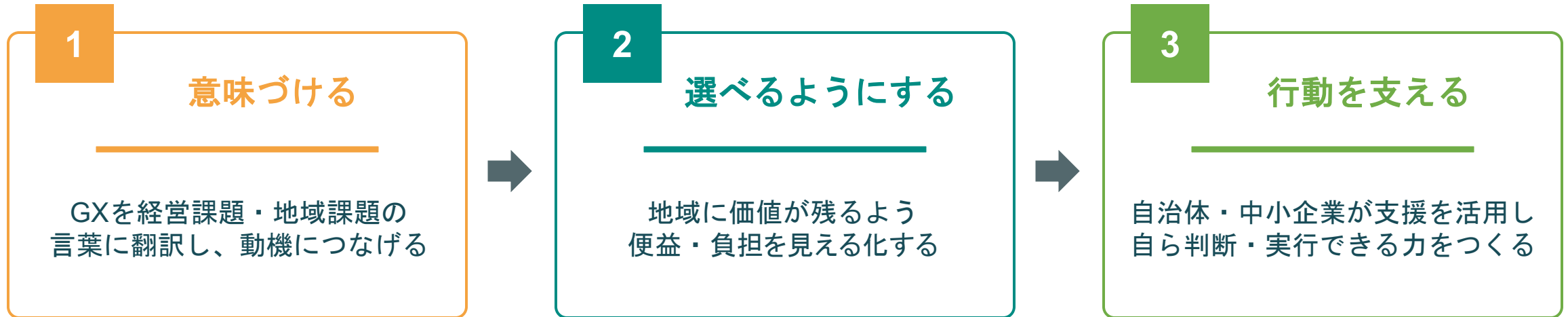
国立大学法人東京科学大学
環境・社会理工学院
融合理工学系 准教授



田中 勇伍

公益財団法人地球環境戦略研究機関
関西研究センター
シニアリサーチマネージャー

本日の議論 | 地域の主体性を成立させる条件



前半 | 成長

中小企業がGXを「経営戦略」として選ぶには？

後半 | 共生

地域が再エネを「地域づくりの手段」として選ぶには？

そのために、政府・自治体・支援機関・企業はどう連携すべきか